

第6学年外国語科指導案

日時 2021年4月27日(水)

対象 第6学年4組32名

〈高学年部会の目指す児童像〉
相手意識をもって、進んで伝え合おうとする児童

1 単元名 Unit 1 学校行事と、そのよさを紹介する

Lesson 1 We are from India. わたし、あなた、わたしたち

CROWN Jr.6 三省堂

2 単元の目標

- (1) ALTに自分のことや自分たちの共通点を伝えて、自己紹介ができる。(聞く、話す(やりとり・発表))
- (2) ゆっくりはっきりと話されれば、短い話の概要を、イラストを見ながらとらえることができる。(聞く)
- (3) 自分や相手のことについて書かれた聞いたことのある簡単な語句や基本的な表現を見て、イラストや音声を頼りにその意味が分かる。(読む)
- (4) ALTに自己紹介をするために、自分の好きなことやできることなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて書き写すことができる。(書く)

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 それまでに学習した語句や文の意味や働きを理解している。 〈技能〉 それまでに学習した語句や文を用いて、短い話の概要をとらえる技能を身につけている。	ゆっくりはっきりと話される短い話の概要を、イラストを見ながらとらえている。	ゆっくりはっきりと話される短い話の概要を、イラストを見ながらとらえようとしている。
(やり取り)	〈知識〉 自分たちに共通のことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 〈技能〉 自分たちに共通のことを伝える語句や表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	ALTや友達に伝えるために、自分たちに共通のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりしている。	ALTや友達に伝えるために、自分たちに共通のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりしようとしている。

話すこと (発表)	<p>〈知識〉 自分たちに共通のことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 自分たちに共通のことを伝える語句や表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。</p>	ALT や友達に伝えるために、自分たちに共通のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりしている。	ALT や友達に伝えるために、自分たちに共通のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えなどを伝えたり、伝え合ったりしようとしている。
読むこと	<p>〈知識〉 それまでに学習した語句や表現の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 それまでに学習した語句や表現を見て、その意味をとらえる技能を身に付けている。</p>	自分や相手のこと、身の回りのものに関する事柄について書かれた聞いたことのある簡単な語句や基本的な表現を見て、イラストや音声を頼りにその意味を捉えている。	自分や相手のこと、身の回りのものに関する事柄について書かれた聞いたことのある簡単な語句や基本的な表現を見て、イラストや音声を頼りにその意味を捉えようとしている。
書くこと	<p>〈知識〉 それまでに学習した語句や表現の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 自分の好きなことやできることなどを、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。</p>	ALT や友達に紹介するために、自分の好きなことやできることなどを、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	ALT や友達に紹介するために、自分の好きなことやできることなどを、見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。

4 単元観

Lesson 1 では、自分たちの共通点を見つけて、**we** を使って紹介する。今までは自分のことを紹介する活動であったが、主語が **We** になることで、お互いに共通点を見つけあう活動に必然性が出てきて、自分の考えを伝えるだけでなく相手の考えもしっかりと聞いて理解することが求められる。そのためより一層相手意識をもった言語活動の指導が大切になる。

また、この単元では主に動物、食べ物、身の回りの物、**I like, I have, I can** などの既習表現を使って言語活動を行う。自分との共通点を見つけるために、それらの表現を使って会話を進めていく。相手の話を聞いて、どのようなやり取りをしたら共通点が見つかるのか考えながら会話を進めていくことが大切である。

このように、この単元では児童が思考しながら聞いたり話したりすることが学習のポイントであると考えた。

5 児童観

アンケートによると、歌やゲームを通じた友達とのやりとりが楽しいと感じている児童が多く、ゲーム性のあるアクティビティには意欲的に参加している。また、「将来のために外国語をもっと勉強したいと思いますか」という問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」が78%と外国語を学ぶ必要性を高く感じている。一方、「自分の思いや考えを話すことが好きか」「自

分の外国語が先生や友達に伝わっていると思いますか」の間に対しては、「そう思う」がそれぞれ35%、48%「とてもそう思う」と回答したのは、22%、12%と低い割合になっている。外国語の必要性に対して、英語への意欲と使えているという実感が伴っていないのが現状である。

また、5年時にはリアクションを取ったり、相槌をうったりするなど「英語を使ったコミュニケーション」に重点を置き、学習してきた。決まったフレーズを伝え合うだけでなく、会話として工夫しようとする児童が多い。クラス替えをし、人間関係が変わった中でも相手意識をもったコミュニケーションができるようにしていきたい。

6 指導観

意味ある言語活動にするためには、まずは、児童の伝えたいことを英語で表現できるように支援していく。児童が自分の伝えたいことを考える時間や、それを正確に表現できるように練習する時間を確保する。

また、前述したようにこの単元では「相手意識をもったやり取り」が大切になる。毎時間、会話の見本を示したり振り返りをしたりすることで、児童自身の「相手」への意識を高めていく。。相手の目を見て伝わるようにはっきりと言うこと、発音やイントネーションに気を付けること、強弱や抑揚をつけること、相手の発言に即時的に反応すること、会話を続けようと努力することなどの大切さに気付かせていく。

さらに、今年度新しく本校に赴任した **ALT** へ4組の学級紹介をするために、クラス全員で団結してお互いの共通点を見つける意欲を高めていく。

7 単元計画と評価計画 言語材料

	目標	活動内容	評価規準 (評価方法)
1	・単元の見通しをもつ。	【Warming up】 担任の自己紹介 【Today's goal】 紹介の準備をしよう 【Activity1】 passport 作り 自己紹介の練習 【Activity2】 p15 学校紹介のイメージをもつ 【Reflection】 振り返りカード	【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで自己紹介をしようとしている。 (観察・振り返りカード)
2	・自分たちに共通の気持ちを伝える語句や表現に気づき、理解して使う。	【Warming up】 sound chant p18,19 【Activity1】 L: Panorama (家族) small talk L: Spotlight A (ワークシート) 【Today's goal】 自分の気持ちを伝えよう。 【Activity2】 Spotlight B (ワークシート) We are ~の練習 活動 ① インタビューゲーム	【知識・技能】 自分たちの気持ちについて We are を使って伝え合っている。 (観察・振り返りカード)

		<p>W:I am happy. Are you happy? Yes. No. 【Activity3】 R:Story p19 (ワークシート) 【Reflection】 振り返りカード</p>	
3	<p>・自分たちに好きなことを伝える語句や表現に気づき、理解して使う。</p>	<p>【Warming up】 sound chant p20,21 【Activity1】 L:Panorama (ペット、食べ物) small talk L: Spotlight AB (ワークシート) 【Today's goal】 自分の持ち物や好きなことを伝えよう。 【Activity2】 兄弟、ペット、スポーツ、食べ物の単語 We have ~ , We like , ~の練習 L:活動 ① 活動② インタビューゲーム W:I have ~ Do you have~? I like Do you like ? 【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【知識・技能】 自分たちの持ち物や好きなことについて We have, we like を使って伝え合っている。 (観察・振り返りカード)</p>
4	<p>・自分たちが共通でできることを伝える語句や表現に気づき、理解して使う。</p>	<p>【Warming up】 sound chant p20,21 【Activity1】 L:PanoramaA (食べ物) small talk L: Spotlight ABC (ワークシート) 【Today's goal】 自分ができることを伝えよう。 【Activity2】 スポーツ、動作の単語 L:活動② We can の練習 活動①インタビューゲーム W : I can ~Can you ~? 【Activity3】 R:Enjpy Reading p21 【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【知識・技能】 今まで習った表現や文を活用して、会話が続くように工夫しながら伝えあっている。 (観察・振り返りカード)</p>
5	<p>本時 ・ALTに伝えたいことを考え、今までに習った。表現や文を使って、友達との共通点を見つける。</p>	<p>【Warming up】 既習表現の復習 【Activity】 L:先生の会話を聞く We have, We like, We have, We can の練習 【Today's goal】 自分たちに共通することを伝え合おう。 【Activity2】 インタビューゲーム 発表 【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【思考・判断・表現】 今まで習った表現や文を活用して、会話が続くように工夫しながら伝えあっている。</p>
6	<p>・今までに習った表現や文を使って、ALTに学級紹介をする。</p>	<p>【Warming up】 既習表現の復習 【Activity】 L:発表の仕方を知る。ビデオ視聴 発表の練習、準備 【Today's goal】 学級紹介をしよう。 【Activity2】 発表 【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んでALTに学級紹介をしようとしている。 (観察・振り返りカード)</p>

〈言語材料〉

We are, We have, We like, We can

(既出) I am I have I like Do you have? Do you like? Yes, I do. No.I don't.

8 研究主題に迫るための手立て

指導の工夫	
担任T1として指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを定形化することで、授業や単元の見通しをもたせるようにしている。 ・児童の実態に即して、単元計画を立てる。
慣れ親しむための効果のあるアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ Panorama, Spotlight を活用し、何度も英語を聞く活動を入れている。十分に聞き慣れた上で友達との交流を取り入れている。 ・ 毎時間インタビューゲームを行い、安心して言語活動に取り組めるようにする。
意味ある言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく来た ALT に学級紹介をするという目的の設定 ・ 既習事項を自由に活用できる言語活動 ・ 意味ある言語活動の積み重ね→毎時間インタビュー活動を行い、段階的に相手意識をもった会話ができるようにしていく。
指導と評価の一体化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しをもって評価していく→目指す児童像の明確化にして、それを実現するために評価規準を作成する。そして見通しをもって計画的に評価していく。 ・ 言葉を意識させる中間評価→ 発音、強弱、間、流暢さ ・ 相手意識をもった活動になるための段階的な指導 ①相手にはっきりと伝わるように ②即時的に反応する、リアクションする (相槌、繰り返す、Oh, I see などを使う、情報を付け加える) ④共通点が見つからなくても、共通点を見つけようと質問をしたり自分の情報を伝えたりする。 ・ 中間評価→児童と共有したい場面があったら、即時的に意図的に中間評価を行っていく。

9 本時（5／6）

（1）本時の目標

- ・ 今までに習った表現や文を使って、友達との共通点を見つける。

（2）本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	◎評価〈方法〉
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶をする。 ・ 【Warming UP】 ・ We have~. We like~. We can~. につながる単語や Activity② で用いることができそうな表現を単語カードで確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が活動で使いたいと思えるフレーズを予め選んでおく。 	

展開
①
10分

【Small talk】

・教員同士が共通点について話している会話を聞く。

【Today's Goal】

・本時のめあて「自分たちに共通することを探して、学級紹介の準備をしよう。」を知る。

【Activity①】

・デジタル教科書でこれまでのターゲット表現 **We have~. We like~. We can~.**の表現を聞き、発話する。

【Practice】

・既習の表現を使って共通点のある友達を探す。

例：

A I like apples.

Do you like apples?

B Yes, I do.

AB We like apple.

・教員同士で共通点について話している姿を見せ、**Activity②**でのインタビュー活動への動機づけをする。

・児童が聞きたくなるような内容、教員がコミュニケーションの手本となるようにする。

・めあてを確認することで、学習の見通しがもてるようにする。

・共通点があれば「**We have ~.**」「**We like ~.**」「**We can ~.**」と発話する。

	<p>【Activity②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達と共通点を探すインタビューゲームをする。 <p>〈activityの流れ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と代表児童1名でデモンストレーションを行う。 ・友達との共通点を予想しワークシートに書く。 ・ペア→全体で交流する。 <p>例：</p>	<p>目的：ALTに学級紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTに学級紹介をすることを確認する。 ・共通点のある人が多いほど学級紹介としてふさわしいことを確認する。 ・上手く表現ができない、分からない、言えない表現があったら、話し相手が手助けしてもよいこと、相手の意図を汲んで手助けできることよさを改めて伝える。 	<p>◎今まで習った表現や文を活用して、会話が続くように工夫しながら伝えあっている。【思考・判断・表現】 〈観察・ワークシート〉</p>
<p>展開② 25分</p>	<p>AB Hello. A I can play basketball. Can you play basketball.? B Yes, I can. I can play basketball. 共通点があれば・・・ AB We can play basketball.</p>	<p>共通点がなければ・・・ A Can you play soccer? B No, I can't. Can you play tennis? A No, I can't. Can you swim? B Yes, I can. AB We can swim. AB Thank you.</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価では上手なやり取りを全体で確認した後、インタビュー活動を行う。 ・どんなことで学級紹介ができそうかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〈Good communication〉 Eye contact, Clear voice, Reaction / Repeat ができているペアや、共通点を見つけようと会話をしているペアを評価し、共有する。 	
<p>終末 5分</p>	<p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書き、自らの活動を振り返る。 ・数名児童が発表する。 ・挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動でできたことや、次回頑張りたいこと、友達のよかったところなど具体的に書くように声を掛ける。 	

(3) 板書計画

授業
の
流れ

Today's goal : 自分たちに共通することを伝え合おう。

We have
We like わたしたちは～です。
We can

・ 〈Good communication〉
Eye contact
Clear voice
Reaction / Repeat

プロジェクター

・ spotlight

・ 既習表現

I like ~ Do you like?

I have ~ Do you have ?

I can ~ Can you ?